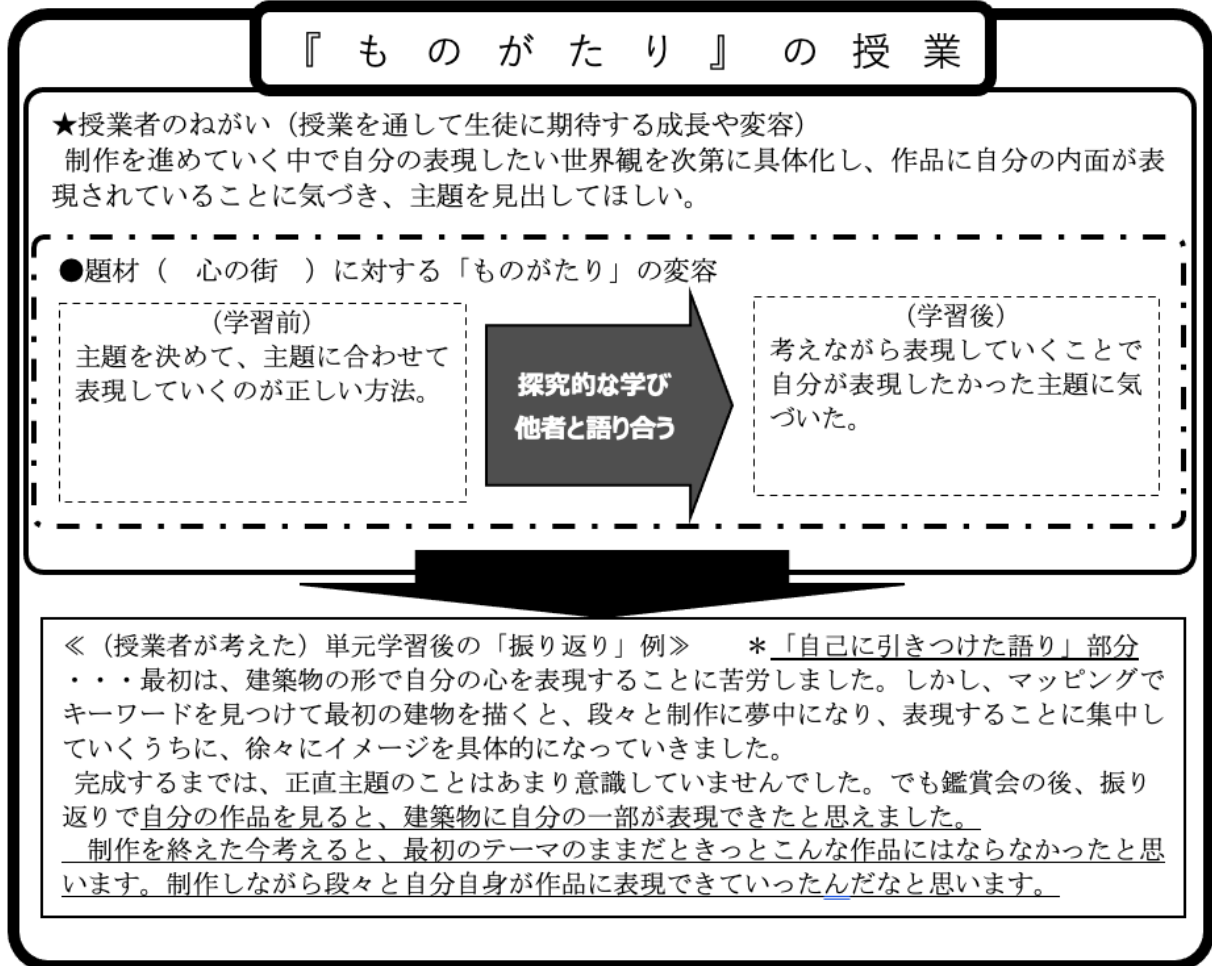


実践事例と分析

【実践事例「心の街 ～等角投影図法を用いた表現～」実施学年2 学年】

1 本単元の「ものがたりの授業」構想図



2 本単元で育成する資質・能力

知 識 技 能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。	○等角投影図法の基本的な法則を理解し、増減などの方法を駆使して、意図に合わせて表現を工夫することができる。【技】
思 考 力 判 断 力 表 現 等	美術作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫などについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	○制作を通してイメージを膨らませ、自己の内面との共通点を探りながら主題を見出すことができる。【思・判・表】 ○相互鑑賞を通して、作者の表現の意図を想像したり、や表現の工夫を見つけながら鑑賞することができる。【鑑】
学びに向かう力 人間性 等	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○作品の制作に取り組み、自分の表現したい世界観を次第に具体化していこうとする。 ○作品の制作に取り組む中で、自己との関連を考え、作品の主題を見つけようとする。 ○作品の制作に取り組む中で、自分の目指すよりよい表現を求めて工夫しようとする。

3 単元構成（全9時間）

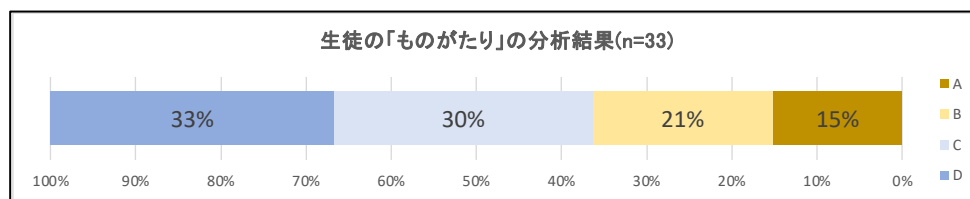
時間	学習課題（中心の問い） と ◆学習内容
1	空想の世界を表した作品にはどんなものがあるか ◆自己の内面を表現した作品を鑑賞する。特に池田学「興亡史」を鑑賞し、自己の内面を題材とした作品の可能性に触れる。
2	等角投影図を使ってどんな表現ができるか ◆等角投影図を用いた作品を鑑賞し、図法の可能性を広げる。 ◆制作課題を受けて、建築物の要素について抑える ◆等角投影図の表現技法を身につける
3	自分の心の中からキーワードを探ろう ◆思考ツールのマッピングを用いて自分の内面からキーワードを出す。 ◆出てきたキーワードから、制作の取り掛かりとなるキーワードを選ぶ
4	自分の心から表現する建築物はどんな姿だろうか ◆マッピングから得たテーマを表す建物のイメージを考える。
5・6・7	制作 ◆作図した作品は、最終的に組み合わせる部品として扱う ◆作品の形態、大きさは制限なし。四角くまとまらなくてもよい ◆2つ以上の建築物を作図する
8	組み合わせて現れる主題はなんだろう ◆制作した建築物を組み合わせて1つの作品にする。
9	作品から現れているものは何だろうか ◆作品を見返して、作品と自分との関連を考える ★対話の場面 相互鑑賞と振り返りレポートを書く。

4 本単元で表出した生徒の「ものがたり」の分析

（１）題材に対する「ものがたり」の変容について

① 自己と題材に対する変容の割合

単元後の記述をA～Dに分類し、自己と題材に対する「ものがたり」が変容した生徒の割合を数量的に分析した。下図は、その結果である。



A～Dの基準（Aにいくほど自己に引き付けている）

- A：活動をつなげて題材を通して振り返っている。主題設定や表現に対する試行錯誤や困難の詳しい記述がある。制作中や制作後に作品と自己との関連を捉え直す詳しい記述がある。
- B：活動をつなげて題材を通して振り返っている。主題設定や表現に対する試行錯誤や困難の記述がある。（制作中や制作後の作品と自己との関連を捉え直す記述なし、または曖昧。）
- C：主題設定や表現に対する記述はあるが、試行錯誤や困難の記述が少ない、またはなし。
- D：制作の感想のみ。困難の記述はあるが、技巧的な部分。作品の主題は好きなもの等、安易に設定している。

② その具体

A 活動をつなげて題材を通して振り返っている。主題設定や表現に対する試行錯誤や困難の詳しい記述がある。制作中や制作後に作品と自己との関連を捉え直す詳しい記述がある（S男）

・・・しかし自分の表現したいことが曖昧にしかわかってなくて自分でもよくわからない物を作っていました。けれど夏休みに時間もあったのでもう一度何をどんな風に書きたいかというのをじっくりと考えたら、今の自分でも結構満足のいくような作品が作れた。
これから学んだことは自分が何をどんなふうに描くかを鮮明に表現して何度か振り返ることが大事だということ。



自分は感情の起伏が結構激しいタイプなので、それがわかるように負の感情と正の感情をはっきりと分けた。

B 活動をつなげて題材を通して振り返っている。主題設定や表現に対する試行錯誤や困難の記述がある。（制作中や制作後の作品と自己との関連を捉え直す記述なし、または曖昧。）。(H女)

振り返りでは上記の記述はないが、作品と解説から制作中の捉え直しがあったと判断した。

・・・自分の気持ちを素直に表現出来たとおもいます。私が好きなものや安心するもの多くかきました。自分のなかで一番のお気に入り時計の塔です。魔物の宅急便など私の好きなアニメにでてくるものをイメージしてつくりました。つた？がからまっているようにして古い感じにしました。



私は心配性なので崩れやすくて高い古い時計塔をかきました。またはじめは壊れた橋をかいていたけど少し違うと思い消しました。かいていても面白かったかなとおもいました。ローソンは私がもっとも愛するコンビニです。

C 活動をつなげて題材を通して振り返っている。主題設定や表現に対する試行錯誤や困難の記述がある。(制作中や制作後の作品と自己との関連を捉え直す記述なし、または曖昧。)(H女)

- ・制作に入る前は、自分をどのように表現すればいいのかがよく分からず、池田学さんの作品や教科書に載っている生徒の作品を見てもどのようにすればいいのかが分かりませんでした。
- ・和という方向性は決まっていたけれど描き終わった作品と調和のとれたものにするのがとても難しいなと感じたけれど最終的には、自分で納得のいくものに仕上がったのでいまでは本当によかったと思っています。

本単元の「ものがたりの授業」の考察【成果(○)と課題(●)】

- 主題を生み出す困難を感じ、制作の中で何度も考え直したり、完成によって主題を捉え直すことができた生徒の姿が一定数見られた
- 過程の中で主題と表現の関係を何度も考える題材として、個別に追加制作し、最後に再構成していく本題材は効果的であった。
- 題材はじめに自己と向き合う時間に対する手立てがなく、生徒は困難は感じていたが具体性のある困難になっていなかった。
- 題材終わりの自己の作品と向き合い、主題を捉え直す時間に、しっかりと活動と向き合うための手立てがなく、生徒任せの時間になっていた。
- 題材を通して、主題を生み出すというテーマについて生徒に意識させる必要があった。
- 表現の分野では、活動自体に困難や達成感をもたせやすい特徴があるが、生徒任せにすると、ねらった困難や達成感をもたせることが難しい。生徒によって作品制作自体に没頭したり、あるいは困難に挫折してしまいがちであり、教師の実技指導によって完成して達成感を感じても、学びの実感を得にくいのではないかな。

(2) 単元における生徒の実際

① 分析の視点

[視点1] 制作の過程の中で、自己や主題を意識し、捉えなおす記述があるか

[視点2] 他者の意見をもとに、自己の主題を振り返る記述があるか

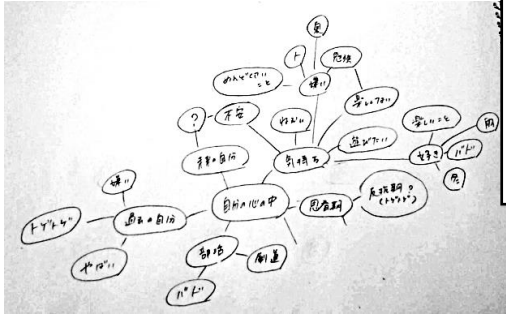
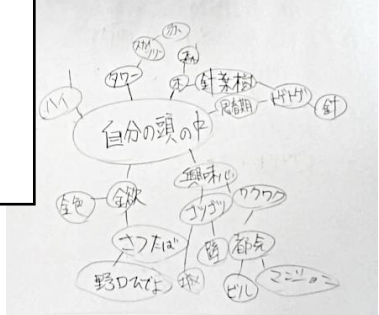
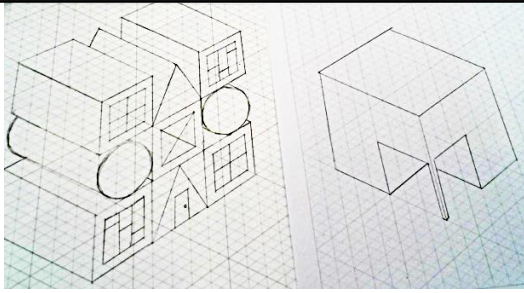
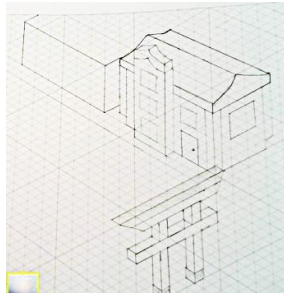
② 分析の対象

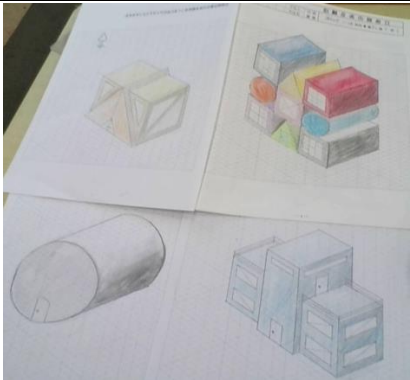
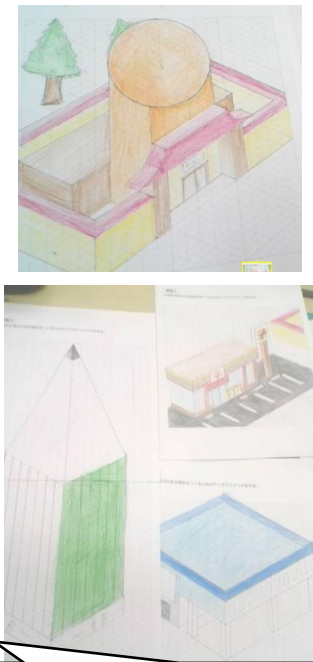
抽出生徒A(M女): 他題材では、アイデアの段階で悩むことが多く、なかなか制作に移れない。導入を終えて、自分の心の中を描き出すことに面白さを感じつつ、それを表現できるか不安を感じている。

抽出生徒B(K男): 他題材では、早期に主題を決めて制作に取りかかる。主題を決めてから制作に移

の方がよいと考えている。本題材でも、早期に決めた方向性から大きく変わらずに制作に取り組む。

【生徒の振り返り】

時間	生徒 A	生徒 B
1	池田学さん？の独特な世界観が面白くてとてもいいと思いました。<u>自分の心の中は結構いろいろあって書ききれなかったけど、楽しかったです。</u><u>自分の心の中をちゃんと建物に表せるか不安</u>だけど、頑張りたいです。	池田学さんの作品を見てみて、人間の想像力の最大を知ることができた。僕は<u>今反抗期</u>なので、チクチク、トゲトゲしている植物や建物を多く取り入れたり、僕は興味心旺盛で頭の中が忙しいので<u>都会のように、建物をいっぱい建てたりして、工夫していき</u>たい。
	 キーワードが多く出たことを楽しんでいるが、主題とするものを捉えられず不安を感じている。	
2	最初のほうは、難しく時間がかかっていたけど、慣れてきたらどんどん手が進んだ。円柱(?)をかくのが一番難しかった。だけど、先生が言ってくれたアドバイスを生かして頑張っていた。実習の先生？が「丸のやつ上手だね」と言ってくれてとても嬉しかった。	今日、<u>マインドマップ</u>を見つめなおして、はっきりしたものを作りたいと思った。<u>屋根を作るのはとても難しかった。</u>次からは、神祕的なものを作りたい。
	主題を表すために、色彩の表現に対する意識がここから高まっている。	作品の方向性を捉えることができたが、そのきっかけや、なぜはっきりしたものを作りたいと思ったのかは読み取れない。
3	<u>最初の時間に友達にもらったアドバイスをもとに元の建物を進化(?)させた。</u><u>自分の内面から、色とか形とか色々考えることができた。</u>次は色を塗っていきたい。	建築物を作図できた。瓦の屋根をつけて、<u>和風な街にしよう</u>としたけれど、<u>曲線を描くのは、困難</u>だった。自分は、たくさん建築物を描いて、<u>にぎやかな街にしたい</u>ので、いろいろな種類の個性のある建築物を追加して行って、順調に進めていきたい。
		
4	今日は前回作った建物から考えて、新しい建物を作った。三角の建物とか四角い建物とかつくりたい。形はできているけど、窓とかベランダとかデザイン？がちょっと思い浮かばないので、次頑張りたい。初めのは色つけてみたけど、思ったより立体感がなくなってショッ	制作をだいぶ進めることができた。コンパスで円を描いて、それをもとに建物をかけた。屋根がやはり難しい。奥行きを想像すると、とても難しいし、頭が痛くなる。アニメみたいな街を作りたい。

	クです。	
5・6	今日は、いろんな形の建物を作った。とりあえず四角と三角はできた。丸は難しいから頑張って考える(どんな建物にするか)。色をぬったり、道路や看板を作って、町っぽくしていきたい。	色付けをだいたひすることができた。今、建物は4つしかできておらず、 <u>寂しい街だけれど、一つ一つがユニークにして、小さいけれど、バチカン市国のように愉快でにぎやかな街にしたい。セブンイレブンみたいに、小物で、他を引き立てるような街を作りたい。</u>
7	色を塗れた。円柱を立体感が出るように塗るのが難しかった。 <u>気持ちに合わせて黄色や青色にした。白と黒も使ってみた。だんだん自分の心に近づいてきた気がする。頑張って仕上げをしたい。</u>	世界的建築技法のピロティーを描いた。他にもタワーを作ろうと思ったら、鉛筆みたいになったので鉛筆タワーを作った。駐車場も作り順調。
		

自分の心を意識しなおしている。作品からは形態のこだわりも見られるが、記述より、特に作品の色彩が自分を表現していると感じている。

興味関心の高い自分を表現するために、にぎやかな街にしたいという方向は早期に決まったが、制作に入ってから自分の心に関する記述は見られなくなった。

A は、マッピングで多くの要素が出たため、どれを主題にしていくか方向性が見えないでいた。グループでの助言により色彩、形態の方向性を決め、制作を進めている。制作の中で何度か自分の心との関連を考える機会があり、色彩の工夫により表現しよう意識するようになった、

B は、マッピング後において、興味関心の多さ=にぎやかな街という作品の印象の方向性を決め、それに向かって制作を進めている。途中、はっきりした雰囲気や和風建築を目指すようになったが、その理由は読み取れない。制作に入り込み、主題が意識から外れたようにも取れる。

成果（○）と課題（●）

- [視点1] において、複数の建築物による「街」という題材にしたこと、最後に配置を考えて組み合わせること、追加修正の容易な等角投影図法を用いたことは、捉えどころの難しい自己の内面と

いうテーマにおいて、制作の過程の中で試行錯誤しながら自分の主題を捉えていくことに有効であったと考えられる。

- 毎時の振り返りに、その日に記録したい制作の写真を「今日の成果」と題して記録させた。時間ごとの作品の変化を生徒自身が振り返ることができるのと同時に、教師が作品の進行、変化を見取り、次の指導の手立てを考えることに有効だった。
- [視点1]において、抽出生徒Aのように、時折主題と自己の制作を比較しながら、自分の主題や表現の工夫を捉えなおす生徒と、抽出生徒Bのように、アイデア出しの段階で主題を意識した後は、制作に没頭し、自分の表現したいものを表現する状態になる生徒とがいた。制作終了時に、自分の心と表現した作品とを比較し、主題を決定する時間を取るが、アイデア出しの段階で自己分析が曖昧な状態で制作に入り、そのまま投影図法を使った表現に夢中になって、テーマを忘れる生徒もいたため、途中の段階でも、作品と主題の関連を考える機会をもつ必要があった。
- [視点2]において、意図的に他者と関わる場を設けたのは4時間目のみであり、抽出生徒Aのようにその後の制作に有効に働いた生徒もいたが、効果があったことがあまり見とれない生徒もいた。他者の意見を取り入れることが正解ではないが、他者との対話が自己理解や自己表現の理解につながるような工夫（機会を増やす、目的を段階的にする など）が必要だと考えられる。
- 既習事項と考えていた作図の技能の差が予想より大きく、作品の成立が難しい生徒もいた。自由度の高い課題であったことも影響し、時間をかけても1つの建築物の作図も困難な生徒もおり、事前の作図能力の見取りをよりしっかりと行うこと、制作の制限（大きさ、基本図形の利用など）を設ける必要があった。